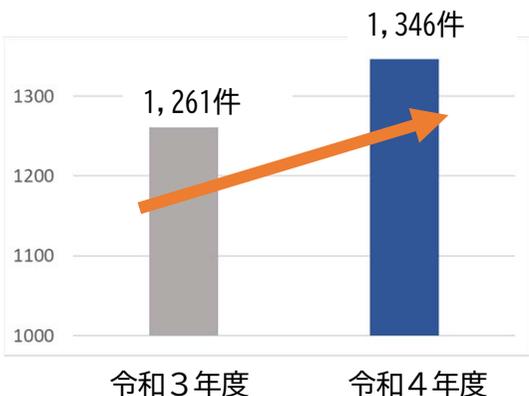


## AIを活用して迅速に相談

令和3年4月、区に児童相談所を設置し、相談件数は増加傾向です。  
 児童相談所と子ども家庭支援センターの電話相談において、子どもや保護者により迅速かつ丁寧に対応するために、  
**「通話音声テキスト化・モニタリングシステム」を令和6年7月に運用します。**

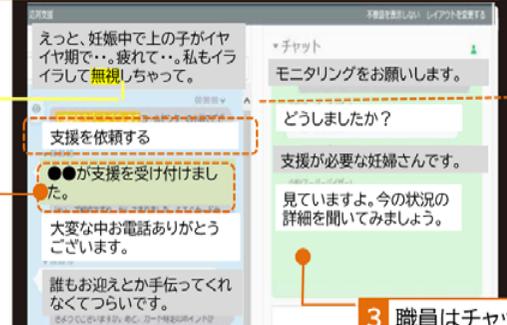
児童相談所の相談件数



通話音声テキスト化・システムは、電話相談や虐待通告を受ける職員の通話をリアルタイムでテキスト化し、スーパーバイザーによるモニタリング等により、迅速に相談支援に対応するものです。



1 通話はテキスト化され、注意ワードはハイライト表示されます。



2 スーパーバイザーに支援依頼をし、依頼が受け付けられたことが画面上で把握できます。

3 職員はチャットでスーパーバイザーからの助言を受け取ることが可能です。

■スケジュール 令和6年1月 ハードウェア調達  
 システム構築  
 7月 運用開始(予定)

AI技術を用い迅速な対応を実施するとともに、記録時間の削減などの負担軽減等を行います。



児童相談所で  
 更にDXを活用

## 家庭訪問にタブレットを活用し迅速に子どもの安全確保 AI児童虐待・児童相談対応支援システムを導入

18,426千円



**POINT**

- ✓ 児童相談所職員が訪問先にタブレットを持参し、チェックリスト等を活用するなど、緊急性を判断する際に必要な内容を確実に調査することができます。
- ✓ 訪問先と所内のリアルタイムな情報共有で、迅速に判断し子どもの安全確保を行います。

■実施時期 令和6年7月運用開始(予定)



■ 一時保護等の分かりやすい説明  

 ■ タブレットを用い、各家庭へ子育て支援事業や関係機関の案内



- 子どものけがや会話など、訪問先の情報のリアルタイムな共有により、判断や支援方針の迅速化
- 訪問先の記録のテキスト化により時間の短縮
- データを蓄積し事例のAIによる分析や判断を支援